児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和5年12月8日

事業所名：Job Kids尼崎

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者様の評価	保護者様の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	1人当たりに必要なスペースは十分に満たしており、相談室、カームダウンスペースも確保している。	はい：29　どちらともいえない：1 いいえ：0　わからない：5	今後も継続して適切な支援を行う。
	2	職員の適切な配置	児童発達支援管理責任者兼 管理者、児童指導員3名、専門職員（理学療法士）を配置している。	はい：24　どちらともいえない：2 いいえ：0　わからない：9	今後も継続して適切な支援を行う。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	ゆったりと過ごせるスペースの確保、学習スペースと遊戯スペースの区別化、また、情報伝達には視覚で理解できるよう掲示板を活用し、情報が散乱しないよう配慮している。	はい：27　どちらともいえない：1 いいえ：0　わからない：8	今後も継続して適切な支援を行う。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染防止の為、手指消毒用アルコールを設置し、入室時・手洗い後・退室時に必ずアルコール消毒を行うよう徹底している。 また、指導訓練室の消毒は毎日行い、学習用具・おもちゃ等の除菌は週1回行うなど、ウイルス感染症対策を講じている。	はい：33　どちらともいえない：0 いいえ：0　わからない：2	今後も継続して適切な支援を行う。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	月2回の職員会議では必ずPDCAを用いて行い、チーム全体の業務改善を図っている。 また、個人の業務改善については管理者による面談を定期的に行うことに加えて、年2回の人事考課により半期ごとの目標設定と振り返りを行っている。		今後も継続して職員のブラッシュアップに努める。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は実施していない。		今後検討し、より良い支援体制に努める
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修機会を確保する為、現場業務との調整や属人化しない社内体制の整備に努めている。 階層別研修，虐待防止研修等の他、社外での研修受講においても積極的に促進を図っている。		今後も継続して職員のブラッシュアップに努める。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者様の評価	保護者様の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者様との定期面談からニーズや課題を把握し、担当者会議で検討後、個別支援計画を作成している。また、カリキュラムごとに担当指導員が児童一人ひとりの記録簿を作成しており、目標設定と振り返り、新たな課題の抽出（支援に必要な項目の設定等）を行っている。	はい：33　どちらともいえない：0 いいえ：0　わからない：2	今後も継続して適切な支援を行う。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載		はい：33　どちらともいえない：0 いいえ：0　わからない：2	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に沿った適切な支援を実施する為、保護者面談の内容及び、支援計画の共有を行っている。また、本児には「頑張り表」等の視覚支援を用いて、支援目標を認識・理解できるよう目標達成に向け支援を行っている。	はい：33　どちらともいえない：1 いいえ：0　わからない：1	今後も継続して適切な支援を行う。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	保護者様のニーズや子供たちの要望を反映させたプログラムの提供を行う為、アンケートを配布しサービス満足度や希望するカリキュラムの調査を行っている。アンケートをもとにサービス提供日（平日、休日、長期休暇）に応じた活動プログラムを3ヵ月ごとに立案し、児童発達支援管理責任者と構築、立案者が担当指導員として実施している。		今後も継続して適切な支援を行う。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援			
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施		はい：33　どちらともいえない：1 いいえ：0　わからない：1	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前には毎日申し送りを行っており、当日の送迎ルート・カリキュラム内容・配置等の確認を徹底している。また、前日の気付きや課題等を再度確認し、情報共有を密に行っている。		今後も継続して適切な支援を行う。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後には毎日振り返りを行っており、支援内容の気付きや児童の様子に加えて、ヒヤリハット・事故の有無等の共有を徹底している。また、振り返りの内容は記録し、翌日の申し送りに活用するなど職員間の共有漏れを防止している。		今後も継続して適切な支援を行う。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者様の評価	保護者様の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	カリキュラムごとに担当指導員が児童一人ひとりの記録簿を作成しており、日々の進捗確認や支援内容の検証・改善を行っている。また、支援に必要な項目の設定等を行い、個別支援計画作成に役立ている。		今後も継続して適切な支援を行う。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリング時期には別途保護者面談を実施し、目標の達成度や課題の共有、ニーズの把握を行った上で、個別支援計画の見直し・作成を行っている。		今後も継続して適切な支援を行う。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者及び、保育士経験のある職員がサービス担当者会議に参加している。		今後も継続して適切な支援を行う。
	2	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在は対象となる児童は在籍していない。		対象となる児童が在籍した場合には、適切に対応できるよう各関係機関との連携を図る。
	3	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在は対象となる児童は在籍していない。		対象となる児童が在籍した場合には、適切に対応できるよう各関係機関との連携を図る。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	特に相談支援事業所との連携を図っており、提供するサービスの趣旨や目的、利用状況等、スムーズな受け入れが可能となるよう情報共有を行っている。		今後も継続して適切な支援を行う。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	放課後等デイサービスの他、同一法人で自立訓練及び就労継続支援B型を運営しており、当社において切れ目のない支援を実現している。他事業所へ移行する場合にも情報提供を行っている。		今後も継続して適切な支援を行う。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修機会があれば積極的に受講の促進を図っている。		今後も継続して職員のブラッシュアップに努める。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は実施していない。	はい：7　どちらともいえない：1 いいえ：10　わからない：17	近隣の児童館においては障害のない子供との交流について限られている為、今後機会があれば参加を検討する。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者様の評価	保護者様の評価を踏まえた改善目標・内容
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は実施していない。		事業所行事の開催等、今後検討を進める。
保護者様への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に支援内容（個別支援計画）の説明及び、利用者負担等について説明を行っている。	はい：32　どちらともいえない：1 いいえ：1　わからない：1	今後も継続して適切な支援を行う。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者面談等において、個別支援計画の内容を説明し同意を得た上で、支援計画に沿った内容を提供している。	はい：32　どちらともいえない：1 いいえ：1　わからない：1	今後も継続して適切な支援を行う。
	3	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対するペアレント･トレーニング等の支援の実施	現在ペアレント・トレーニングは実施していないが、支援内容や事業所での関わり方等、保護者様と常に共有し、共通理解を持ち支援を行っている。	はい：12　どちらともいえない：4 いいえ：12　わからない：7	ペアレント･トレーニング等の支援について、現状保護者様からご希望を頂いていない為、実施に至っていない。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者様との共通理解の徹底	利用日にはサービス提供記録の作成に加えて、送迎時に当日の様子を報告している。	はい：32　どちらともいえない：2 いいえ：0　わからない：1	今後も継続して適切な支援を行う。
	5	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者様から相談があった場合には適宜面談を実施し助言を行っている。	はい：32　どちらともいえない：3 いいえ：0　わからない：0	今後も継続して適切な支援を行う。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者様会の開催による保護者様同士の連携支援	現在父母の会等は実施していないが、事業所説明会やオープンスクール、保護者様向けの講習会を開催している。	はい：4　どちらともいえない：2 いいえ：16　わからない：13	父母の会等の保護者様同士の連携について、現状保護者様からご希望を頂いていない為、実施に至っていない。
	7	子どもや保護者様からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者様に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応体制のレポートラインに従って迅速に対応し、保護者様への周知については必要に応じて書面で示している。	はい：23　どちらともいえない：2 いいえ：0　わからない：10	今後も継続して適切な支援を行う。
	8	障害のある子どもや保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者様との情報伝達については、電話・メール、書面を用いる等、様々なケースに対応できるよう配慮している。	はい：27　どちらともいえない：2 いいえ：1　わからない：5	今後も継続して適切な支援を行う。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者様の評価	保護者様の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者様への発信	毎月のカリキュラムは前月に保護者様に配布している。公式LINEでは毎月発行の広報誌やイベント情報、災害時の対応等を配信している。また、毎日更新するブログで日々の活動内容を発信している。	はい：34　どちらともいえない：1 いいえ：0　わからない：0	今後も継続して適切な支援を行う。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報や重要書類については鍵付きのキャビネットで保管しており、PC内のデータはUSBで管理し社外への持ち出しを禁止している。また、社内のインフラ整備も行い、セキュリティ環境の整備に努めている。	はい：32　どちらともいえない：0 いいえ：1　わからない：2	今後も継続して適切な支援を行う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者様への周知徹底	各種マニュアルは常に閲覧できるよう事業所内に設置し、職員会議の場においても適宜周知している。	はい：30　どちらともいえない：2 いいえ：1　わからない：2	今後も継続して適切な支援を行う。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練を月1回カリキュラムに導入し、地震・津波・火災それぞれの避難方法と避難場所の確認を行っている。また、避難場所については個別支援計画に明記し保護者様にも周知している。	はい：33　どちらともいえない：1 いいえ：1　わからない：0	今後も継続して適切な支援を行う。
	3	虐待を防止するための職員研修の確保等の適切な対応	年2回虐待防止委員会において研修等を実施し、委員会開催後には定例会議にて情報共有を行っている。また、社外での研修機会の確保にも努め、虐待防止における意識醸成を図っている。		今後も継続して適切な支援を行う。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者様に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在身体拘束が予想される児童は在籍していないが、入所の希望があった場合には保護者様や関係機関と十分に意思疎通を図った上で、職員の対応を決定する。		今後も継続して適切な支援を行う。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用契約時に必ず食物アレルギーの有無を書面で確認した上で、食事を提供する際には毎回メニューを保護者様にお伝えし了承を得ている。		今後も継続して適切な支援を行う。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットが発生した際には報告書を作成し、事故防止策を検討している。また、事例をもとにマニュアルの改訂を行い、対応策が定着するよう努めている。		今後も継続して適切な支援を行う。